

東日本大震災に遭遇して ⑥

ガスは復旧していないしガソリン不足は相変わらずだが、再開する店も次第に増え、それなりの日常生活に戻りつつあるが、今回の大震災に遭遇して日常生活面のことでちょっと気づいたことを覚え書しておく。

①地震直後、ガスが出ることもあるが、配管等に残っている分のように、今回我が家は数時間後止まったので、出ているからと安心しないこと。

②地震直後、水道が出ることもあるが、団地内タンク、配管等に残っている分のように、今回我が家は6時間後に止まった。出ていると安心せず、念のために直ぐに貯め置き作業を始めるように。

③停電期間、夜間の室内に庭のソーラー式足下灯を利用する（昼間庭に出しておくで充電出来る）。

④停電期間、夜間トイレ用に電池式の人の動き感知センサー電灯をトイレに置いておくと良い。

⑤停電期間、携帯電話の充電のために車内用の充電ユニットがあると良い。

⑥停電期間、画像での情報を得るためにもカーナビはTV併用のものが良い。

⑦ガス式卓上コンロと、IH式卓上コンロの両方を準備していると良い。

⑧給水には、20リットル用ポリ缶だと運ぶには重すぎるので、10リットル2ヶの方が良い。

⑨電気復旧後、固定電話も使えるはずだが、通電音が聞けても中継基地等のトラブルで使えないこともある。

我が家は翌日に通話できるようになった。くれぐれも固定電話がダメになったと早とちりしないように。

⑩水洗トイレ用の水は雨水を貯めて利用する。

⑪水道復旧前に長時間外出する時は、念のために止水栓は閉めておいた方がいい。

我が家の近くの家で留守中に水道が復旧し、外部用風呂釜から漏水が長時間（6時間ほど）続いていた。

⑫最近の住宅は壁にはめ込み式電灯スイッチが多いが、余震が続くので、余震か？揺れに過敏になり過ぎか？と戸惑うこともあり、電灯から下がったヒモ式スイッチがあると良い。

そのヒモの揺れで余震かどうかが分かる。

⑬宅配が利用出来ない期間、急用で小物の送付には、ポストに投函できるレターパックが良い。

⑭強い余震が続くので、震源地・地震の強さ、居住地までの到達時間・震度が瞬時に表示される PC 用無料の「緊急地震速報用受信ソフトウェア」をインストールすると良い。

阿部幸泰 （2011年3月31日 記）